ねんきんだより Pensions News

令和３年度の国民年金保険料額は月額１６，６１０円です。

令和３年度の国民年金保険料の免除・猶予の申請を受け付けます。

○学生納付特例申請

４月から令和４年３月までの学生納付特例申請を４月１日から受け付けます（板倉町に住民票がある２０歳以上の人）。申請するかたは、令和２年中の所得の申告またはご家族の扶養申告の手続きを済ませてください。

［持参するもの］

・年金手帳（すでにお持ちの人のみ）
・新学年の学生証（有効期限が令和４年３月31日まで更新してあるもの）または令和３年度の在学証明書
・印鑑（代理人による届出のとき）

また、令和２年度に保険料納付猶予の承認を受けているかたで、令和３年度も引き続き在学予定のかたに対し、３月下旬にはがき形式の学生納付特例申請書が送付されます。同一の学校に在学されているかたは、このハガキに必要事項を記入し返送することで、令和３年度の申請ができます。（この場合、在学証明書または学生証の写しの添付は不要です。）

○一般免除・納付猶予

令和３年度の一般免除・納付猶予の申請は７月１日から受け付けます。申請するかたは必ず令和２年中の所得の申告を済ませてください。

問合せ　太田年金事務所 ☎４９－３７１６

消費トラブルにご注意！

配置薬の補充だけのはずが…

【事例】

ひとり暮らしの母は、20年以上前から配置薬を利用し、約３か月ごとに業者の訪問を受けていた。

先日、母の元に今までとは違う別の担当者が来て、いつもの常備薬補充の後、１瓶約４万円もするサプリメントを勧めてきた。母も１度は断ったものの「10回払いにすればいい」と強く言われ、結局、配置薬補充代金とは別に、分割料金約４千円を集金されてしまった。
（当事者：70歳代女性）

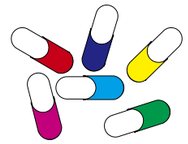
【ひとこと助言】

配置薬を補充する定期訪問の際に高額な健康食品を勧誘されたというトラブルの相談が、このところ多く寄せられています。

不要なら、その場できっぱりと断りましょう。訪問対応は１人ではなく、できるだけ家族や友人などに同席してもらいましょう。

家族や友人など周囲のかたは、高齢者の家に頻繁に訪問してくる人がいないか、また、家の中に多量の未開封の品物や不明な契約書がないかなど、日ごろから気を配りましょう。

少しでも不安を感じたら、支払う前に消費生活センターなどにご相談ください。



相談は消費生活センターまで　☎８２－７８３０（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系		外科系	耳鼻科
４月４日（日）	寺内医院 ８８－１５１１	こやなぎ小児科※ ８０－２２２０	富士クリニック・ペインクリニック ２０－１９７１	今村クリニック ７０－２２２１
４月11日（日）	黛泌尿器科内科医院 ６３－７８００	うえの医院 ７２－３３３０	慶友整形外科病院 ４９－９０００	－
４月18日（日）	横田胃腸科内科 ７２－４９７０	星野こどもクリニック※ ７０－７２００	海宝病院 ７４－０８１１	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３
４月25日（日）	三浦医院 ６２－２９１７	阿部医院 ６２－５４２８	岡田整形外科クリニック ７２－３１６３	－
４月29日（祝）	館林記念病院 ７２－３１５５	小児科おぎわらクリニック※ ６１－１１３３	川島脳神経外科医院 ７５－５５１１	－
５月２日（日）	いたくら内科クリニック ７０－４０８０	益田小児科医院※ ６２－５５３５	しんじょう整形外科クリニック ５５－３６２３	－
５月３日（祝）	福田ペインクリニック ８４－１２３３	横田医院 ７２－０２５５	富士クリニック・ペインクリニック ２０－１９７１	－
５月４日（祝）	蜂谷病院 ６３－０８８８	堀越医院 ７３－４１５１	慶友整形外科病院 ４９－９０００	－

歯科

館林邑楽歯科保健医療センター
７３－８８１８
午前９時～正午

◆緊急　公立館林厚生病院　☎７２－３１４０（内科系・外科系）
◆コロナに関すること　群馬県受診・相談センター
☎０５７０－０８２－８２０（24時間受付）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）
●内科系の※は、小児科のみとなります。●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。
●救急テレホンサービス　☎７３－５６９９：受診可能な病院を紹介しています。

水道のことは
群馬県東部水道企業団館林支部
☎０２７６－８０－３２０１
（関連記事が９ページにあります）

Face フェイス

仕事のためならいくらでも勉強できる

自信を持って患者さんと向き合うために

今井和寛さん

いまい　かずひろ／42歳
朝日野在住

ボランティアでアンプティサッカー（腕や脚に切断障害のある選手のサッカー）のメディカルトレーナーもしているという今井さん。切断障害がある選手の肉体負担は非常に大きく、健常者以上に熱中症リスクも高いため、気配りと身体ケアが欠かせないそうです。

レポーター
広報編集委員
栗原友孝（くりはらともたか）

延べ二万人にリハビリ施術

「ちゃんと運動してるか？　一緒にフットサルしようぜ！」友達に会うといつもこれが口癖の今井さんは、運動・筋トレ大好き！の細マッチョな理学療法士。県内外の病院で延べ二万人にリハビリテーション施術をしてきました。

人と関わる仕事をしたいと考えていたものの進路を迷っていた高校時代。父親の事故をきっかけに理学療法士という仕事を知り、自分の「手技」で患者さんを救えるこの職業に魅力を感じて志したそうです。

体の不調は足の状態から

約20年間の病院勤務の経験から、症状が深刻化する前の早期ケアの必要性を強く感じてきた今井さんは、昨年４月に長年の夢だった個人サロンを埼玉県草加市で開業しました。

総合的な健康サポートコンサルティングを目指したこのサロン。理学療法の施術はもちろん、個別ジムトレーニング指導、ダイエットサポート、足と靴の診断まで受けられるとてもユニークなサロンとなっていて、病院時代の患者さんも彼を頼って数多く通ってきてくれるそうです。

足を見て患者さんの状態を把握

体の痛みや不調は足の不具合に起因することも多いのだと話してくれた今井さん。立ち姿や歩き方を見れば、患者さんのどこに問題があるかすぐに分かるそうです。

『シューフィッター』という特別な資格に基づく足診断はとても的確で、靴の中敷きを特殊な物に変更するだけでも足の問題点を大きく改善できるのだと言います。「正しい歩き方、正しい靴選び、足の重要性を多くの人々に理解してもらいたい！」という熱い想いが丁寧な説明と真剣な表情から伝わってきます。

「俺はあまのじゃくだから誰かに勉強しろと言われたことは勉強できなかった。でもこの仕事のためならいくらでも勉強できる。治療が趣味なんだ！ゴッドハンドと呼ばれるくらい自信を持って患者さんと向き合いたい！」と熱っぽく語る彼の手技の進化を、これからも応援し続けたいと思います。